



技術・研究分野 | 技術
優秀賞 (林野庁長官賞)

連続開口設計サポート

株式会社LIXIL

評価ポイント 木材でつくられた開口ユニットを構造解析し、開口部を耐力壁とする在来木造住宅を可能にする新規性ある構法で、開放的で利便性の高い空間づくりを消費者へもたらすことに成功している。システム化によって一般ビルダーへの普及を目指し、暮らしの豊かさをもたす木造住宅や木造商業施設を広げていくというビジネスモデルとして効果がある。

概要

一般的な流通木材で構成した開口ユニットを用い、ユニットごとに構造解析し、予め壁倍率を算出。それを反映し、邸ごとに家一棟全体の構造計算を実施し、一般的な木造住宅を供給しているプレカット会社/一般ビルダーで開口部を耐力壁とする在来木造住宅を提供可能とするシステムです。

元々、日本人が慣れ親しんだ木造住宅は現在の木造に比べ、とても開放的なものでした。しかし、断熱気密耐震の確保等の制約でデザイナーの意図を実現しづらい面が現在の在来木造住宅にあり、設計的な意図ではなく開口部が小さくなる傾向にあります。このシステムを使って、一般ビルダー・PCによって開口自由度を持った在来木造住宅を実現することで、今まで以上に室内が明るく、風通しのよい快適な、日本人にとってなじみ易い、開放的な木造住宅で暮らすことができます。

◆ http://www.lixil.co.jp/lineup/construction_method/smart_skeleton/
仕様: 開口部を耐力壁とした在来木造住宅の提供システム
価格: 構造計算料350,000円(延床面積150㎡未満)(税別)
入手先: 株式会社LIXIL

004



建築・空間分野 | その他
優秀賞 (林野庁長官賞)

JRKYUSHU SWEET TRAIN 「或る列車」

九州旅客鉄道株式会社

評価ポイント 木質の美しく快適な内装空間のデザインは、そこが列車内であることを忘れさせるほど印象的で充実感をもたらす。九州の地域の魅力を発信する車両床、家具、窓の板戸・障子、窓飾り組子、雪見障子などに地域の杉材が使われ、まさにハートフルな空間づくりにつながっている点を高く評価した。

概要

明治39年(1906年)、当時の「九州鉄道」がアメリカのプリル社に豪華客車を発注したものの、活躍する機会がなかった「九州鉄道プリル客車」、通称「或る列車」。世界的な鉄道模型の神様といわれた故・原信太郎氏が作成した模型を元に、水戸岡鋭治氏がデザイン・設計。「原鉄道模型博物館」副館長を務める原健人氏が監修。1号車車内はロマンチックな色の木材を使用し、格子天井等のクラシカルな雰囲気を感じられる空間に、2号車車内は落ち着いた色の木材と組子の雪見障子を使用した個性的なコンパートメント(個室)空間としています。ふんだんに木材を使用した豪華な車内とともに旅を演出するのが、世界的にも評価の高い成澤由浩シェフのスイーツコースです。

◆ <http://www.jrkyushu-aruressha.jp/concept>
仕様: 2両1編成

005